2010

【応募期間】2010年8月20日~9月15日

【応募状況】21 校(県内11、県外10)、735件(802人)

【審査結果】

《グランプリ》

A sunny place ~パノラマ窓帷レール~ 工藤千佳 (大分県立中津南高等学校耶馬渓校3年)

《優秀賞》

ワンタッチハンガー

山本望月(今治北高等学校1年)

電子楽譜♪

中島麻貴(大分県立森高等学校2年)

《奨励賞》

メーター見える蛇口

田村茜 (宮崎県立宮崎商業高等学校3年)

cool beauty タオル

岩城えりか (宮崎県立宮崎商業高等学校1年)

メモカレンダー

岡田貴大 (済美高等学校1年)

《努力賞》

電子メモ冷蔵庫

川本仁美(大分県立臼杵商業高等学校3年)

レシートなくしてうれしいと(笑)

小川愛加(宮崎県立宮崎商業高等学校1年)

自動鍵

廣田直樹 (大分県立臼杵商業高等学校3年)

《特別賞(大分合同新聞社賞)》

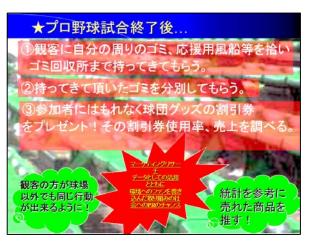
ポイして GET!

濱田侑李 (宮崎県立宮崎商業高等学校1年)

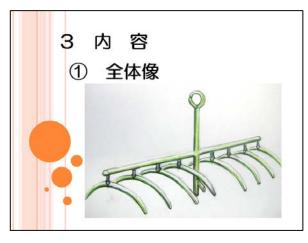


A sunny place ~パノラマ窓帷レール~

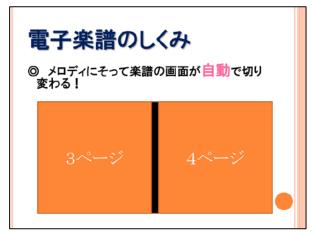




ポイして GET!



ワンタッチハンガー



電子楽譜♪

【審査講評(抜粋)】

最終プレゼンに進んだ上位 10 件の作品は、いずれも高校生らしい視点から考えだされ、日常生活の中での観察力の鋭さがうかがわれるものでした。

工藤千佳さんの「パノラマ窓帷(カーテン)レール」は、カーテンの着脱を便利にするだけではなく、既存のカーテンを超える斬新な発想で、書類審査とプレゼンテーションともに最高得点でグランプリに選出されました。大分合同新聞社賞の濱田侑李さんの「ポイしてゲット」は、サービスを提供する企業とサービスを利用する顧客の双方に効用をもたらすプランで、環境保護のための仕組みと応用範囲の広さが高く評価されました。優秀賞の山本望月さんの「ワンタッチハンガー」はまさにこんなハンガーがあってほしいと思わせる作品で、中島麻貴さんの「電子楽譜」はデジタル化のメリットをよく理解し、それを反映させた作品でした。

奨励賞の岩城エリカさんの「Cool Beauty」タオルは、猛暑の夏に重宝しそうな作品で、田村茜さんの「メーター見える蛇口」、岡田貴大さんの「メモカレンダー」は、水の無駄遣いを減らし、紙のリユースをしやすくする、環境に対する意識の高い作品でした。

努力賞の川本仁美さん、小川愛加さん、廣田直樹さんの各作品も、着想が素晴らしく、デジタル化の価値をより追及して、今少し詳しくかつ論理的に展開していればいずれも上位入賞が可能でした。

人間の創意工夫の英知が社会の問題を解決していきます。身の回りにあるものや仕組みをそれが当たり前のものと捉えるのではなく、価値の所在や改善点を考えてみることで、新しい価値の創造意識が高まります。日常生活の中での気付きを大切にし、前例や既成のものにとらわれず、クリエイティブに思考し、実現するにはどうすればよいかを現実的に考えましょう。